



音楽劇

# 赤いハートと蒼い月

**赤いハートがあれば、私にだって蒼い月が見える。月に手が届かなくても、月に手を伸ばすことを忘れてはいけない。だから私は諦めない！**

## 【作品介绍】

この物語は、視覚障害というハンディにも負けず孤軍奮闘、中国天津で日本語学校を設立し、現在はアジア視覚障害者教育協会会長として、日中間において視覚障害者の留学支援活動を続けておられる 青木陽子氏をモデルにして描かれた作品です。

「赤心を推して人の腹中に置く」 真心を持ってすれば、見えない月も見えるようになる…。幼い頃に見た蒼い月の思い出を心の支えに、視覚障害者のための日本語学校設立という大きな夢に向かって歩き続ける主人公の姿が、私たちに、自分の中の“可能性”という無限の力と、生きることへの勇気と希望を与えてくれます。天津 胡同<フト>の共同住宅「四合院<シゴウイン>」を再現した温かみのある舞台セットと、情感あるオリジナル音楽を背景に、障害や国という壁を越え、夢と希望、そして友情に固く結ばれてゆく仲間たちを温かく描いた作品です。

## 【青木陽子氏プロフィール】

1961年11月、埼玉県生まれ。6歳のときに高熱がもとで失明するが、努力によって抜群の成績で南山大学を卒業。その後、米国ニューヨーク州立大学に留学し、教育学の修士を獲得。1993年8月には中国の天津市で中国語を学び、卒業後の1995年に、天津で中国初の無料の日本語学校「天津市視覚障害者日本語研修学校」を設立。中国教育への多大な貢献により、2001年には、中国政府が外国人専門家に贈る「友誼賞」を受賞。又、日本でも2004年に「毎日国際交流賞」を受賞。2010年には、日本政府よりその功績を称えられ「外務大臣賞表彰」を授与された。

耳を澄ますと、社会の片隅で苦しみながら悩みながらも、懸命に生きようとする人々の叫びが聞こえてきます。私はそういう人たちに、夢を抱くことの素晴らしさを教えたいのです。どうか皆さんも、赤いハートを持って、それぞれの「蒼い月」を探し続けて下さい。  
〈青木陽子氏のメッセージより〉

♥2007年大阪春の演劇まつりに於いて 企画賞・舞台美術賞受賞！

♥楊 雪元(よう せつげん)氏 友情出演！

青木陽子氏の日本語学校での実際の教え子である楊氏が、中国笛の演奏とコーラスで舞台を盛り上げてくれます。

【楊 雪元 P・F】 中国天津市生まれ。幼少の頃から笛を習う。中国長春大学特殊教育学院音楽科中国笛専攻。卒業後、演奏活動の傍ら、青木陽子氏主宰の天津日本語学校に通い、1999年来日。中国笛奏者・声楽家として数々の受賞歴を持つ。現在、中国竹笛協会名誉理事。

♥脚本原作者 富川元文 1991年「日本の桜」「結婚しない女たちのために」で第10回 向田邦子賞受賞。

主な作品に、TV「峠の群像」「心はいつもラムネ色」「二本の桜」「ピアノ」などがある。

故淀川長治氏が晩年に「今、日本の映画でこのくらい上手いシナリオ、なかなかありません」と絶賛した映画「うなぎ」(第50回カンヌ国際映画祭パルム・ドール受賞)の脚本家でもある。

笑って! 歌って! ケンカして!

私は、決してあきらめない!

音楽劇

# 赤い心と蒼い月



- ・上演時間:1時間50分
- ・出演者数:17名
- ・脚本:富川元文
- ・演出:鈴木健之亮
- ・音楽監督:丸谷晴彦
- ・作曲:瀬藤 幹

Story ...

舞台は中国・天津の胡同(フートン(下町の意))。1人の日本人女性が、視覚障害を持つ中国人を自宅に集めて日本語を教えています。彼女の名前は「鈴木耀子」。彼女も又、6歳の時に視力を失っていました。そんな彼女の夢は、天津に日本語学校をつくること。ある日思いがけない吉報が舞い込みます。市民合唱コンクールに優勝すれば、無料で学校施設を提供してくれる人がいると言うのです。歌が大好きな耀子は、日本語を教える時もいつも歌を使って教えています。彼女は迷うことなく、このコンクールに参加することを決意するのですが...

立ちは大なる困難に、時にくじけそうになりながらも、励まし励まされ、そして夢に向かって歩く耀子とその仲間たちの物語り。

真心が、情熱が、そして音楽が...今、心と心をつないでゆきます...

## 〈劇中歌〉

お月さんいくつ  
五十音の歌  
だいこくさまの歌  
おおスザンナ  
おほろ月夜  
証城寺の狸ばやし  
海はふるさと  
十五夜お月さん  
パーパームーン

## 【オリジナル曲】

蒼い月  
自己紹介の歌  
夢を見るほど  
あかあかや  
やさしくしないで  
ゆかしい人  
見えない月

